

茨城高等学校・中学校

校長室だより 2025年10月31日

5440個のカボチャたち

今日は10月31日、ハロウィンです。近年では日本でも、ハロウィンがすっかり定着した感がありますが、少なくとも3、40年前までは「ハロウィンって何？」という人が主流派でした。そのころ「ハロウィンって知ってる？」と聞かれると、「あーお店とかの番号調べる電話帳？」「それは、ハローページ」、「就職希望の人が行って仕事探すところでしょ？」「いやそら、ハローワークや」、「知ってる。体重がりんご3個分の、サンリオ・ピューロランドでバイトしてる白い猫」「いや、ハロー・キティ！間違えへんやろ、そなん」というような会話がしばしば行われていました。(ウソ)

ちなみに筆者が「ハロウィン」という単語に初めて触れたのは、中学の英語の教科書でした。「10月、空気は冷たくなり、落ち葉を焚くブルーグレイの煙があちこちで上りはじめます。ハロウィンがやって来るのです」というような文章があり(もちろん英文で)、へー、アメリカじゃそんなお祭りがあるのだなあ、と思った記憶があります。

ハロウィンは現在ではキリスト教のお祭りですが、その起源は、二千年以上前に現在のアイルランドなどに住んでいた古代ケルト人の「サウイン」という祭礼にさかのぼるといいます。ケルト暦で10月31日は一年の終わりでした。秋の収穫を祝う日であると同時に、あの世から死者の魂が帰ってくる日で、死者の魂と一緒に悪霊もやって来ると考えられていました。その悪霊に人間だと気づかれないよう仮面を付けたりしたのが、ハロウィンの仮装につながったそうです。

それでは、それがなぜ現在、キリスト教のお祭りとなっているかというと、5世紀頃アイルランドに初めてキリスト教が伝わったとき、人々がキリスト教を受け入れやすくするために、現地のケルト信仰との融合をはかったからだ、と言われています。ユダヤ教から生まれたキリスト教は、キリスト教を信仰すれば、異民族であっても神の祝福を受けることができるという教義のもと、積極的に外国への布教を行いました。(ちなみに同様の教義を持たないユダヤ教は、キリスト教のような積極的な布教は行いません)。そのとき、その土地の神や信仰を否定すれば、激しい対立が生じます。そこでキリスト教の伝道者は、現地の信仰をうまく取り入れながら、キリスト教をその地に根付かせようとしたのです。例えば、キリスト教のもう一つの大きなイベントであるクリスマスは、ミトラス教が冬至の日に行っていた「光の祭」を、ローマ帝国時代にキリスト教に取り入れたものです。フランシスコ・ザビエルが日本に布教した際も、「父なる神デウス」を仏教の大日如来に重ねて教えを説いています。

先日、校内巡回をしていたら、英語のフルニエ先生が大会議室でハロウィンの飾り付けをしていました。聞くと、「今日のホームルームの時間に、クラスでハロウィンパーティーをします」とのこと。そこで配る予定だという、脳みそが半分飛び出している骸骨のキャンディを一個もらいまし

た。…が、ちょっと食べる勇気がわきません。



さて、ハロウィンといえばカボチャを連想するという人も多いと思いますが、本校では毎年中学1年生が、美術で粘土のカボチャを作ります。これも先日、校内巡回をしていたら、ちょうど中学1年生が美術室で粘土のカボチャに色を塗っているところでした。本物のカボチャそっくりの作品もあれば、大きめのミカン？というような個性的なカボチャもあります。互いのカボチャを見せ合ったりして、楽しそうに色を塗っています。

そういえば茨中で美術の時間にカボチャを作るようになってどれくらい経つのだろう？と興味がわいて、授業が終わってから美術の渡辺先生に聞いてみました。すると、「ボクが就職したときにはもう作っていたから、少なくとも34年以上になりますね～」という答え。ということは、1学年の人数を160人として、 $160 \times 34 = 5440$ 、何とこれまでに5440個以上の粘土のカボチャが製造されてきたことになります。5440個のカボチャって、ちょっとすごくないですか？

5440個のカボチャは、今どこにあるのでしょうか？中学生、高校生なら自宅の勉強机の上に飾られているかもしれません。大学生や社会人の場合、段ボールの底にしまわれているかもしれません。もしかしたらお父さんやお母さんが作ったカボチャの隣に子どもの作ったカボチャが並べられている、などということがあっても不思議はありません。このカボチャの例に限らず、何十歳も年齢が離れていたとしても、同じ学校で学んだ人同士が、同じ経験、同じ思い出を共有することができることは、とても良いことだなあ、と感じました。

ちなみにこの時期にカボチャを作るのは、特にハロウィンとは関係ないそうです。「夏野菜をモデルに粘土細工を作るのですが、他の野菜だと腐ってしまうので、日持ちのするカボチャなんです」と渡辺先生はおっしゃっていました。

長引いた残暑もようやく落ち着いて、やっと秋らしい気候になってきました。紅葉が山々を美しく彩るのももうすぐです。それでは、ハッピー・ハロウィン！

※「校長室だより」は、本校のHPにも掲載しています。バックナンバーを読みたい人は、HPの「学校案内」→「校長室だより」からどうぞ。